

予想される学習活動・子どもの意識の流れ

パフォーマンス課題：みんなの生活がもっと楽しく、よりよくなるための『提案文』を書こう！
みんなの熱い思い（意見）と、それを支えるデータや証拠（事実）を組み合わせ、校長先生や児童会、担当の先生、友達の心を動かし、検討してもらおう！

1 学習計画（見通し）

友達と提案文を読み合い、互いの良さや改善点を見つけ合って、大人を納得させる提案文にブラッシュアップするにはどうすればいいかな？



自分なりの下書きが書けたぞ！でも、大人に本当に伝わるか、友達と確かめ合い、もっと説得力のある提案文にパワーアップさせたいな！



2 授業の学び

【友達と読み合い、推敲する】

誰と 友達（3人程度）
どこで 自分の席 or 交流スペース
何を使って チェックシート

ループリックをもとにして友達と読み合い、良さを認め合いながらアドバイスを生かして下書きを修正・完成させよう。



ルールすごく良い！でも、校長先生だったら『じゃあ、守らない人がいたらどうするの？』って心配しそうだから、『見回り係をつくる』って書き足したら完璧じゃない？

事実のあとに『だから～が必要だ』って繋げているんだね。説得力があるから、僕も“なぜなら”を使ってこの順番で真似してみる！

友達のよさを見付ける言葉

「ループリックの○番が上手！」「アンケートをとって具体的な数字があって説得力があるね！」

大人の目になってアドバイを送る時の言葉

「○○先生だったら○○はどうするの？って心配するからルールを書き足すといいよ。」

3 振り返り

「○○さんに『データとルールの組み合わせがすごく納得できる！』と褒められて嬉しかった。」

○○さんの文末表現がとても丁寧だったので、自分の提案文でも真似して修正した。

次の時間は、1文字1文字真心を込めて清書をして、提出しよう！！

教師の指導・支援

- ・ 設定したループリックを共通の評価基準（物差し）として、単なる感想の言い合いではなく、具体的にアドバイスし合えるようにする。【課題】
- ・ 黒板や端末上に「良いところ」「もっと良くなる工夫」の伝え方の具体例を提示し、建設的な対話が生まれるよう支援する。【過程】
- ・ 相互に読み合って交流する時間（15～20分）と、もらったアドバイスを元に自分の提案文を推敲する時間（10～15分）を保障する。【形態】

主体性の目安となる自己調整の度合い

学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子ども	教師	子ども	教師	子ども
1	9	2	8	2	8